松江市男女共同参画センター情報誌

プリエール

2026
AUTUMN

11 月 12 日～25 日は

「女性に対する暴力をなくす運動」期間です〈内閣府〉



特 集

二次被害を防ぐために
重要なこと

あなたは悪くない。
もうひとりで抱え込まなくて大丈夫。



パープルリボン

女性に対するあらゆる暴力をなくしていこうというメッセージが込められています

Contents

■女性に対する暴力をなくす運動 ～あなたと大切な人を守るために
■特集ー二次被害を防ぐために重要なこと
(一社)しまね性暴力被害者支援センター さひめ
事務局長　河野美江さん
■お知らせ･･･パープル･ライトアップほか

プリエールとは男女共同参画センターの愛称です。フランス語で願い･祈りの意味を持ち公募によって決まりました。

11 月 12 日～25 日は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です〈内閣府〉

あなたと大切な人を守るために

～言葉や態度による暴力、偏見に気づくことから～

DV(ドメスティック･バイオレンス)とは配偶者やパートナーなど親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のことです。配偶者からの暴力は、外部からの発見が困難な家庭内において行われるため、潜在化しやすく、しかも加害者に罪の意識が薄いという傾向にあります。このため、周囲も気付かないうちに暴力がエスカレートし、被害が深刻化しやすいという特性があります。

女性に対する暴力とは

- DV(ドメスティック･バイオレンス)
- 性犯罪･性暴力
- ハラスメント
- ストーカー行為
- 人身取引　　など

暴力の種類

身体的暴力･･･殴る、蹴る、物を投げつける　など
精神的暴力･･･怒鳴る、脅す、無視する　など
経済的暴力･･･生活費を渡さない、仕事を辞めさせる　など
性的暴力　･･･性行為を強要する、無理やり裸の写真を撮る　など
社会的暴力･･･メールをチェックする、行動を監視する　など
こどもを利用した暴力･･･こどもの目の前での暴力　など

暴力の背景

DV の被害者は性別を問いません。しかし被害者の多くは女性です。
背景には、男女の役割分担意識、相手を自分より低く見る意識、経済力の格差、暴力を容認しがちな偏見など様々な問題が大きく関係しています。



被害者は、逃げないのではなく逃げられない



どうして逃げないんだ？
相談してくれたらいいのに

被害者は繰り返される暴力によって、自分に自信が持てなくなったり、心が疲れ果て逃げる力や相談する力を失っている場合があります。また、経済的な不安など暴力を振るわれていても逃げることができないなど様々な問題が隠れています。

ひとりで抱え込んでしまう背景

恐怖感	逃げたら殺されるかも こどもや家族に危害が及ぶかも　など
孤立感	どうせわかってくれないし、誰も助けてくれない 家庭の問題を他人に話すのは恥ずかしい　など
経済的な問題	夫の収入がないと生活できない　など
思い込み	私が悪い。自分さえ我慢すれば　など
こどもの問題	こどもを巻き込みたくない こどもにとっては父親だ　など

友達や家族などから相談されたり、被害に気づいたら

もしあなたが、身近な人から相談されたり、DV の被害に気づいた時には、相手の話を疑ったり、自分の考えや気持ちを押し付けたりせず、寄り添って話を聞くことが大切です。

どんな理由があっても、暴力はゆるされません

専門の相談機関があることも伝えてください



特集

二次被害を防ぐために重要なこと



(一社)しまね性暴力被害者支援センター
さひめ 事務局長　河野美江さん
島根大学副学長、産婦人科医、臨床心理士

知ってほしい 性暴力の「正しい知識と理解」

〔はじめに〕

近年、性暴力への社会的関心が高まっています。しかし、性暴力は新たに生じた問題ではありません。#MeToo 運動やフラワーデモなどを通じて被害者が声を上げるようになり、これまで見えにくかった被害がようやく社会の中で認識されるようになってきました。

警察に届け出られた不同意わいせつ・不同意性交等の認知件数は年間約 1 万件ですが、内閣府の調査では、不同意性交等の被害経験がある人は女性 8.1%、男性 0.7%と報告されています。また、私たちが大学生を対象に実施した調査では、何らかの性暴力被害経験が 42.5%にみられました。
このように、性暴力は決してまれな出来事ではありませんが、多くの被害者は相談できずに苦しんでいます。

〔二次被害〕

二次被害とは、被害を打ち明けたり相談したりした際に、警察や医療機関、家族、友人など周囲の人の言動によって、新たな精神的苦痛や不利益を受けることをいいます。
二次被害の背景には、性暴力に関する誤った思い込みである「レイプ神話」があります。レイプ神話によって被害者が責められたり、被害を疑われたりするため、相談をためらう人も少なくありません。
性暴力は、相手の意思に反して性的自由や自己決定権を奪う行為です。被害からの回復には、被害者が安心して自分の意思で選択できる環境を取り戻すことが大切です。

〔周囲の人にできること〕

被害を受けた人は、「自分が悪かったのではないか」と自分を責めていることがあります。そのようなときは、「あなたは悪くありません」「話してくれてありがとう」と伝え、安心して相談できる場所につなげることが大切です。

＊レイプ神話

レイプ神話とは、性暴力に関する事実と異なる思い込みや偏見のことです。

若い女性が性暴力被害にあう	実際には、年齢や性別を問わず誰でも被害に遭う可能性があります。
挑発的な服装や行動が原因だ	服装や行動は性行為への同意を意味しません。被害者に責任はありません。誰でも被害に遭う可能性があります。
本当に嫌なら抵抗したはずだ	恐怖や混乱によって身体が動かなくなり、抵抗できないことがあります。
加害者は見知らぬ人だ	実際には、知人や友人、交際相手など顔見知りによる被害が多くみられます。

＊二次被害につながりやすい言葉

・どうして逃げなかったの？
・なぜもっと早く話さなかったの？
・こうすればよかったのに
・思ったより元気そうだね
・早く忘れた方がいいよ

といった言葉は、被害を受けた人をさらに傷つける可能性があります。
男性や性的マイノリティ被害についても、

・男性が性暴力の被害に遭うはずがない
・男性なら抵抗できるはずだ

等の偏見があります。しかし、性暴力は誰にでも起こり得る問題です。

(一社)しまね性暴力被害者支援センターさひめ

「さひめ」では、緊急避妊薬の処方や性感染症検査などの医療支援、法律相談、カウンセリングを無料で受けることができます。被害を受けた方だけでなく、保護者や家族など周囲の方からの相談も受け付けています。被害者を責めるのではなく、寄り添い、支援につなげることが回復への第一歩となります。
身近な人から相談を受けた際には、ぜひ「さひめ」などの専門機関をご紹介ください。

相談電話　0852-28-0889
　火・木・土　17：30～21：30（年末年始除く）
メール相談
https://sahime.onnanokonotameno-er.com/

HP からメールできます

Instagram フォローよろしくお願いします

〈令和８年度〉

パープル･ライトアップ＆パネル展示



松江城天守〈昨年度〉



市役所本庁舎〈昨年度〉

毎年、11 月 12 日から 25 日までは「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。
今年度も、女性に対する暴力根絶の願いや被害者に対して「一人で悩まず、まずは相談してください。」というメッセージを込めて、「パープル･ライトアップ」を実施します。
併せて、DV 防止啓発等のパネル展も行います。

	期間	ライトアップ	パネル展
松江城天守	11/12(木)～14(土)	○	
市役所本庁	11/6(金)～30(月)	○	○
保健福祉総合センター	11/11(水)～25(水)		○
市民活動センター	11/9(月)～29(日)	○	○ 14 日,15 日除く

配偶者やパートナー等からの暴力に悩んでいませんか？

DV なのか、性暴力なのか、分からなくても
不安な気持ちを抱えたら、相談窓口に話してみませんか？
話すだけって、だけ、じゃないから。
すべて話さなくてもいい。決断を急がなくてもいい。
その先のことは、話してから考えても大丈夫です。



ひとりで抱え込まないで！

相談機関

全国共通ダイヤル･SNS

電話はおかけになった地域を担当する相談先(警察･支援センター)につながります

専門の相談員があなたのお話をうかがいます
年齢･性別を問わず相談できます

性犯罪･性暴力

- 電話で相談：性犯罪･性暴力被害者のためのワンストップ支援センター　#8891（はやくワンストップ）
- SNS で相談：Cure time（キュアタイム）　多言語対応しています
- 電話で相談：性犯罪被害相談電話（警察）　#8103（ハートさん）

配偶者･交際相手からの暴力

- 電話で相談：DV 相談ナビ　#8008（はれれば）
- チャットで相談：DV 相談プラス　多言語対応しています
- 電話で相談：警察相談専用電話　#9110

松江市

- 電話又は面談で相談：家庭相談課　TEL(0852)55-5210　月曜から金曜 8 時 30 分～17 時 15 分 祝休日･年末年始は除く
- 電話又は面談で相談：男女共同参画センター 女性相談　TEL(0852)25-2602　月、火、木、金曜日 10 時～16 時 祝休日･年末年始は除く

松江市男女共同参画センター
〒690-0061　松江市白潟本町43市民活動センター(ｽﾃｨｯｸ)3階
TEL 0852-32-1190 FAX 0852-32-1191
E-mail:danjo@city.matsue.lg.jp

［開館時間］9:00～17:15

［休館日］土日、祝日、年末年始

●交通のご案内
JR松江駅から徒歩10分
天神町バス停ななめ前
松江大橋南詰め下車徒歩3分